

事業計画書（法人）

2023(令和5)年度 事業計画書(案)

社会福祉法人 倣 襄 会

1、長期の目標（法人の目標であり全部門共通）

長期目標は、法人の基本理念「福祉活動を通じ地域社会に貢献する」です。

- 1, 貢献度を長期にわたり、具体的に測定・評価する経営を行う。
 - 1) 貢献度を具体的に測定する。

次の2側面、①職員、②利用者と家族・地域社会で測定する。
 - 2) 求める満足度は、
 - 1)職員が、「あゆみで働いてよかった」と評価すること。
 - 2)利用者と家族が、「あゆみを利用してよかった」と評価すること。そして、上記の2者があゆみの利用を他の人に宣伝・推奨してくれることである。
- 2, 事業部門長（管理者・施設長）は経営者である。部門長は長期、中期（5～10年）、短期目標（毎年度目標）を設定し、事業を長期発展させる権限と責任をもつ。
- 3, すべての事業部門で、ガバナンス（経営、組織強化）、アカウントビリティ（説明責任）を実現する。

2、中期の目標 組織強化、社会の変化に対応する企業風土を確立する。

中期目標はマンパワーの強化。人材は最大で最重要の経営資源です。

- 1, 採用活動を強化する。CI(法人の優位性)を高め、多岐のチャンネルで採用活動を行う。
- 2, 働き方改革に取り組む。業務の改善・効率化に焦点を当てる。
- 3, 目標設定・評価・面接システムの習熟、オン・ザ・ジョブトレーニングで人材を育成する。
 - 1) 法人内外の研修制度への参加を奨励する。
 - 2) BCP（事業継続計画）、CSR（事業の社会的責任）で組織を強化する。
- 4, 認証制度を活用し、質の高い経営をおこなう。
 - 1) きょうと福祉人材育成認証制度（優秀で2025年度まで延長認証されている）。
 - 2) 京都式ワークライフバランスの推進。（保育園・高齢ともに2018年認証）
 - 3) ISS活動（2015年認証）による「けがの少ない安心・安全な保育園」の実現。
- 5, CI(Corporate Identity)アプローチで「あゆみ〇〇ナンバーワン作戦」を開始する。

あゆみサービスを差別化する。その独自性を広報・宣伝する。その独自性を高く評価してもらおう。即ち、対外的には競争優位を確立、対内的には一貫性をもたらす。

3、2023年度の事業計画（短期目標）

- 1, あゆみ保育園ナンバーワン作戦を展開し、他部門をリードする。
- 2, 保育園事業は、施設投資・人材強化に成功した。定員450名（現在370名）を目標にする。

4、社会貢献事業 本格的に再開する。

- 1, 「西山送迎」の継続中。
- 2, 「子ども食堂（わか事業）」の再開・継続する。
- 3, あゆみ祭（法人催事）に地域住民を招待し、協働する。
- 4, 日曜日、祭日園庭を開放する。
- 5, 「災害時 臨時避難所」を提供する。上西山／亀岡あゆみ保育園ともに避難所に指定された。

以上

事業報告（法人）

2022(令和4)年度 事業報告書

社会福祉法人 倣裏会

理事長 井内邦典

今年度も、事業を順調に運営することができました。法人全体で事業活動収入は新記録の¥858,794,000（対前年、109%、+¥71,443,000）でした。事業活動収支は¥62,933,000（対前年、107%、+¥4,319,000）でした。部門別事業活動収支は、10決算部門の内1部門（亀岡あゆみ認知症対応型通所介護、通称ホットディサービス）が赤字でした。しかし、通常ディサービスと合算では黒字です。高齢部門の事業活動収支は¥35,525,000（昨年は¥883,000）と大きく改善しました。

上西山あゆみ保育園は借入金なしで新事業に進出、成功させました。かたや、特養・ショートステイは、借入金での事業進出です。建設費は3億9000万円（補助金2億円、WAM借入れ1億7000万円）です。これは、保育園の財務裏付けで運営しています。2021年6月開業で、2年目ですが、計画とおりに進行しています。特養・ショートステイを事業軌道に乗せる。そして、それを可能とする人材を育成することが法人の最重要課題です。

特記事項

1、財務内容の公開。倣裏会は2013年5月より、ホームページ（当法人並びに全国社会福祉法人経営者協議会）に情報を公開しています。発表事項は、次の8項目です。

- ① 経営理念（経営方針） ② 現況報告書 ③ 決算内容 ④ 監査報告書 ⑤ 定款
⑥ 役員報酬規程 ⑦ 評議員報酬規程 ⑧ 役員・評議員名簿

2、ガバナンス、アカウンタビリティを全組織で推進しています。

・法人評議員会・理事会は次のとおり開催しました。但し、Covid-19特例で「決議省略」もあります。

日 時	会議名	主要議題
① 2022年6月6日	監事監査会	事業報告、計算関係書類等の監事監査
② 2022年6月9日	第1回理事会	事業報告、決算、高齢部門就業規則及び賃金規程の改定、基本財産の追加に関する定款変更の件、高齢部門管理者の人事案、定時評議員会等の開催、理事長の職務執行報告
③ 2022年6月29日	評議員会 (決議の省略)	事業報告、決算、基本財産の追加に関する定款変更の件
④ 2022年10月14日	第2回理事会 (決議の省略)	高齢部門賃金規程の改定、育児・介護休業規程の改定
⑤ 2022年11月8日	第3回理事会 (決議の省略)	上西山保育園駐車場及び構内道路舗装整備の承認
⑥ 2022年12月5日	第4回理事会 (決議の省略)	死因贈与土地を基本財産として受け入れる件
⑦ 2023年3月7日	第5回理事会	事業計画、収支予算、基本財産の追加に関する定款変更の件、監事の欠員補充の件、高齢部門管理者の人事案、定時評議員会の招集、理事長の職務執行報告
⑧ 2023年3月30日	定時評議員会	事業計画、予算、基本財産の追加に関する定款変更の件、監事の欠員による監事選任の件

・第三者委員会

2022年7月28日に、中川征男委員、栗山重和委員にご出席いただき開催し、現状報告、苦情報告を行いました。特記すべき問題事項、課題事項はありません。

3、事業部門制・独立採算制を2016年度より法人組織に浸透させています。

- ① 事業部門長（管理者・施設長）は経営者として、部下を育成し、業績で貢献する。
部門長は長期、中期、短期目標を設定し、事業を長期発展させる権限と責任をもつ。
- ② 事業部門毎の独立採算制を徹底する。この成果は、事業部門長の報告をご覧ください。

4、人材は最大で最重要の経営資源です。この方針で人材育成を推進しています

- ① ワーク・ライフ・バランス、キャリアパスを実現する人事雇用制度を推進しています。
 - *きょうと福祉人材育成認証制度 2014年10月に認証を取得、2017年度、2022年度に評価面接を受け、良好との評価で認証が5年間延長（2027年度迄有効）されました。
 - *職員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り働きやすい雇用環境の整備を行うため、次世代法と女性活躍推進法を一体化した一般事業主行動計画を策定しました。ホームページ上で公開しています(2021年11月)
 - *働きやすい職場環境への取り組みが評価され、2018年11月「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証企業に認証されました。(2021年6月更新)
 - *一般財団法人「非営利組織評価センター」より、NPO「グッドガバナンス認証」を受けています。(2020年12月14日)
- ② ICT化で、仕事の合理化、効率化で成功事例を挙げています。
- ③ 職員の満足度を客観的具体的に測定するため、外部調査機関による調査を実施しています。（「京都府福祉職場 組織活性化プログラム」）
2018年12月以来毎年実施です。今年度は2022年5月に結果を発表、
 - *部門毎に、評価に基づく対策を実施しています。

5、社会貢献事業

当法人は時代の要請である、社会福祉法人の地域貢献事業を積極的に推進しています。

- ① 西山送迎：2013年1月より実施しています。
- ② こども食堂（わかか事業）：2016年3月より実施、Covid-19で一時停止。
- ③ あゆみ祭（法人催事）：Covid-19で今年度も一時停止。
- ④ 亀岡あゆみ保育園、園庭の開放：土・日曜日、祝祭日に実施しました。
- ⑤ 亀岡市との契約・調印で、あゆみの施設を「災害時の臨時避難所」に提供しています。
亀岡あゆみ保育園（2017年4月から）。上西山あゆみ保育園（2023年1月から）。
- ⑥ 亀岡市との契約・調印（2016年4月8日）で、ドライブ記録を提供し、事件解決に貢献しました。
- ⑦ 上西山でも子育て支援事業を開始しました。（7月から水遊び施設等で開催）
- ⑧ 「あゆみ安心サポート」（別法人、合同会社）でも貢献しています。

6、「倣裏会2022年度 あゆみ」

2022年度、法人の主な活動を写真付きで報告します。別添です。